

Nitto

Innovation for Customers

第156期 第2四半期のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日



Nitto



2020年度上半期を終えて

2020年度上半期における経済環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を大きく受け、後半において回復がみられたものの、そのスピードは緩やかであり、先行きの不透明感の強さは依然として継続しています。

このような環境のなか、テレワークの拡大などを背景に、ノートパソコン、タブレット端末向けの部材およびスマートフォンなどの電子機器の組み立て用部材並びに半導体の生産における工程用部材の需要が伸長しました。また、TV用汎用偏光板において協業先との連携を強め、技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。核酸医薬関連事業につきましては、COVID-19治療薬やワクチン開発など核酸医薬への期待はこれまで以上に高まっており、受託製造事業に加え関連部材の需要が堅調に推移しました。加えて、医療用マスク材料として多孔質部材に対する期待も高まっています。

一方、自動車市場は、COVID-19の影響を強く受け、後半において徐々に回復がみられたものの、市場における自動車生産台数は前年度に及ばず、需要は低調に推移しました。また、

スマートフォンの光学フィルムにおいては、スマートフォンメーカー各社間で強弱がみられ、全体として需要は減少しました。

なお、NittoグループにおけるCOVID-19による影響としましては、各国政府・地域行政の指示に従い、一定期間、操業を停止した海外

グループ拠点がございましたが、2020年9月末時点においてはすべて稼働しております。

以上の結果、売上収益は前年同期比にて5.4%減の3,577億円、営業利益は3.1%増の423億円となりました。

Nittoが目指す未来を創るこれからの経営

COVID-19の収束が見通せず長期化が予測されていますが、事業環境の変化への対応力を発揮し、さらなる成長を実現し続けるNittoグループでありたいと考えています。

そのためには、経営理念をベースに地道な改善活動を続けながら、「成長戦略」と「構造改革」の両輪を回していくことが不可欠です。

大きな環境変化のなか、まずは、戻らない需要を見極めたうえで、事業の取捨選択を推進します。

加えて、需要が戻り、Nittoが戦えるマーケットに対しては、合理化やロスの削減等の「改善活動」を通じて構造改革を推し進め、徹底して無駄を省くことで、着実に利益を生み出す事業構造を確立します。

最後に、価値観や環境が変わるタイミングこそ、Nittoは強みを発揮できます。そのような変化が起こる場所が成長が期待できる市場、すなわち伸びる需要であり、取り組みを強めるべきところと考えています。

これまでのやり方にとらわれず、それに代わる新たな取り組みを進めることで成長戦略を強化していきます。戻る需要、伸びる需要への資源の再配分を行い、Nittoグループは、さらなる成長を目指してまいります。

利益還元について

Nittoの配当政策は、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本にしています。一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、内部留保を使って研究・開発および生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも不可欠です。株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、および配当性向等を総合的に勘案して実施することとしています。また、内部留保についても定期的な水準を確認し、総合的に勘案して用途を定めていきます。

2020年度の年間配当金は、1株につき年間200円を予定しております。なお、中間配当金は100円とさせていただきます。

代表取締役 取締役社長
CEO・COO

高崎 秀雄



TOPICS 1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応

Nittoグループでは、すべての人の健康と安全を最優先に、感染拡大の防止とともに、お客様への供給継続に向けて取り組んでおります。

グループ従業員とその家族の健康・安全の確保として、出社可能な人数に上限を設けるといった取り組みとともに、時差出勤やテレワークの活用を積極的に推進しております。また、出張や社外での会合、イベント参加について地域の感染状況に応じた対応ができるようにガイドラインを作成し、感染予防と拡大防止に取り組んでおります。

事業に対する影響としては、各国政府・地域行政の指示に従い、一定期間、操業を停止した海外グループ拠点がありましたが、2020年9月末時点においてはすべて稼働しています。社会インフラや医療関連といった供給を停止することができないような製品・サービスについては、従業員の感染防止対策を徹底し、当局からの要請に応じて供給を続けました。

このような環境のなか、関東事業所において生産している多孔質材料TEMISH®は、その高い性能を活かし、医療現場における高機能マスクの材料としての利用が広がっています。COVID-19拡大防止の最前線で戦う医療従事者の皆様の健康を守るために、Nittoの製品も貢献しています。

COVID-19の流行はこの先も続くことが想定され、第二・第三波に備えることが求められています。Nittoグループでは、COVID-19拡大に伴う社会の変化に対応していくために、働き方の見直しや事業継続力の強化について、これからも検討してまいります。



TEMISH®を使った医療用マスクが医療機関へ出荷される様子

TOPICS 2 ATP※とのパートナーシップ契約を2025年まで延長

Nittoは「チャレンジする人を応援する」とのコンセプトで2017年より男子プロテニスのシーズン最終戦のタイトルを競い合う世界最大のインドアテニストーナメントであるATPファイナルズのタイトルスポンサーを務めてきました。

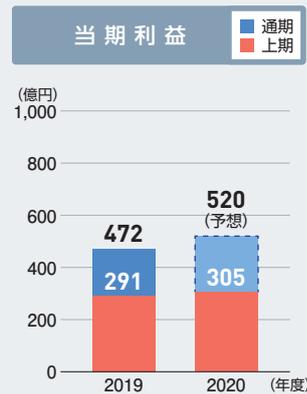
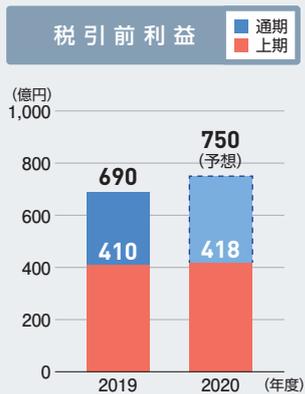
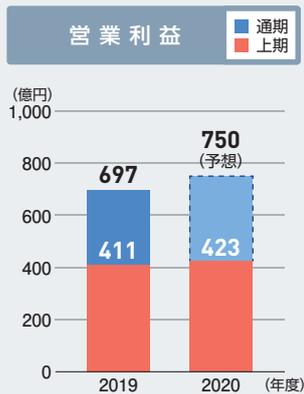
協賛活動を通じたグローバルでの露出によるブランド価値のさらなる向上を目指し、このたびATPとのパートナーシップを2025年まで5年間延長することを決定しました。

本パートナーシップの延長により、Nittoは2021年から

トリノで開催されるATPファイナルズの協賛に加え、ATPツアーのゴールドパートナーおよびオフィシャルアスレチックテープスポンサーに就任いたします。協賛活動の幅を広げるとともに、ATPメディカルチームにアスレチックテーピング製品を提供することで、シーズンを通して多くのテニスプレーヤーのチャレンジを応援いたします。



※ ATP : Association of Tennis Professionals (男子プロテニス協会)



※1 2020年度上半期連結売上収益に占める海外での売上収益の割合

※2 2020年度上半期(9月末時点)の総資産に占める自己資本の割合

ポイント

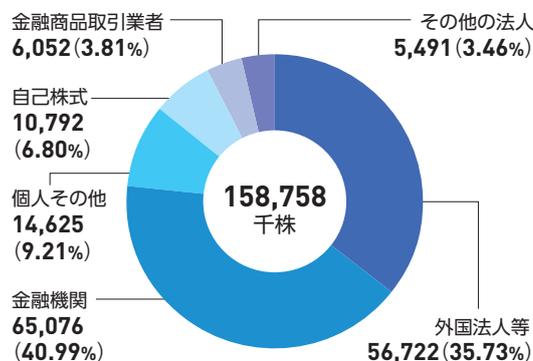
- COVID-19の感染拡大抑制を目的にテレワークが急速に普及したことにより、オプトロニクスをはじめ関連製品の需要が伸長しました。また、医療用マスクの材料として多孔質部材の新たな需要が生まれました。
- 自動車関連の製品は需要が戻りつつあるものの、売上は前年度の水準に及びませんでした。

■ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行済株式の総数 158,758千株
株主数 33,468名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式Facebookページでも情報を発信しております。
<https://www.facebook.com/nitto.branding/>



■ 表紙写真: 関東事業所